

MFC5150 Series ハンドヘルドコミュニケーター はじめに

概要: MFC5150 Series ハンドヘルドコミュニケーター は、HART®規格のユニバーサルコマンド、コモンプラクティスコマンド、デバイススペシフィックコマンドを全てサポートするハンドヘルドコミュニケーターです。

HART® コネクタ

タッチスクリーン
(スタイラス不要)

標準配列英文字キー

ナビゲーションキー

インフォメーション、アドバンスキー

数字キー

電源キー

バックライトキー

充電時の LED 表示
バッテリー充電時には、
ドッキングステーションの
LED ライトの色が、充電モード
によって変わります。
オフ
- バッテリーパックが
未装着か電源が
入っていません。
緑色の点灯
- バッテリーの充電が
完了しました。
アンバー色の点滅
- バッテリーに充電しています。
アンバー色の点灯
- バッテリーが充電可能
温度範囲外です。
赤色の点滅
- バッテリーの異常です。
赤色の点灯
- 充電の異常です。

バッテリーパックの装着と取り外し I

NOTICE バッテリーケースを過度に締めないでください。
(最大トルク 0. 7 9 N・m)

NOTICE 最初のバッテリー充電は完全に充電 (6 時間)
してください。

7/64” 六角ソケット 6-32 ネジ

μSD メモリカード
挿入スロット

NOTICE メモリを交換の際は、Meriam パーツ Z9P780 か後継パーツ
のみを使用し、必ず Meriam 担当者 の指示に従って下さ
い。指定メモリ以外の使用 は、安全の認証が無効になる
可能性があります。

WARNING ドッキングステーションでの充電は、本質安全防爆に含まれません。防爆エリア (危険エリア) 内での使用しないでください。
本体取扱説明書の Control Drawing の“Hazardous Area Use”の部分参照ください。

バッテリーの装着と取りはずし バッテリーパックは二つのネジ (7/64” 六角レンチの 6-32 標準ネジ) で本体に固定されています。バッテリーケースのネジを過度に締めつけないでください。

装着: 平らで安定した場所で、表示器を下にして、本体を置きます。装着スペース内のコネクタとバッテリーパックを 1cm 程離して置きます。バッテリーパックを装着スペースに沿って、コネクタが完全に接する様に、上にスライドします。ネジを留めて、装着が完了します。

取り外し: 上記操作の逆の手順を実施してください。

NOTICE バッテリーパックには高性能な容量管理機能が含まれており、自律的に容量を監視しています。そのためバッテリーパックの使用において、バッテリーの初期化処理などは必要ありません。

NOTICE ドッキングステーションは、バッテリーパック単体での充電をサポートしていません。正しく充電するには、バッテリーパックをコミュニケーター本体に装着してからドッキングステーションに置いてください。

MFC5150 Series ハンドヘルドコミュニケーターの立ち上げ

電源ボタンを 1 秒間押して離します。約 2 秒後に、スプラッシュ画面が表示され、MFC5150 Series ハンドヘルドコミュニケーターのアプリケーションが起動します。

HART® 機器の接続: 電源投入時に、メインシステムメニューが初期画面で表示されます。HART® メニューからいつでもアクセス可能です。

システム
メニュー

選択アイテム
(赤い囲み)

HART® 接続

5150 Field Communicator

2:06PM

1 2 3

EJA: 5C-449

Repolling

バッテリー残量/時刻

システムナビゲーション
(アイコンをタッチまたは数字を選択)
1. ハンドヘルドセットアップアイコン
2. HART® セットアップアイコン
3. システム情報アイコン

システムメニュー (トップ、センター、ボトム の 3 エリアで構成)

HART® ポーリングアドレス範囲選択
は、ポーリングするアドレス範囲を
選択するか、タグやロングタグで
選択できます。

HART® 接続の表示

no device found

Devices Found: 2

Initiating Device

EJA: 5C-449

有効なポーリング範囲に機器が見つからなかったときに表示されます。コミュニケーターは HART® セットアップで選択した HART® アドレス範囲をポーリングし続けます。もしポーリングアドレス範囲が一つで、機器の接続を確立した場合、他の機器へのポーリングを中止します。ポーリングアドレス範囲が複数のアドレスで、機器の接続を確立した場合、接続可能な機器を見つけるために、全範囲のアドレスをサーチし続けます。

ポーリング範囲に複数の機器が見つかり、どちらかの機器を選択しなければならないときに表示されます。黄色のアイコンを押すと、ポーリングアドレス範囲の全機器のリストボックスが表示されます。一度機器を選択して、“Accept”を選択すると、リストボックスが消えて、コミュニケーターが接続を開始します。

選択された機器に接続を確立し、機器情報記述 (DD: Device Description)を読みこんでいるときに表示されます。

通信が確立し、機器が HART® ネットワークに正常に接続したときに表示されます。コミュニケーターは他の機器に連続して接続に行くことはありません。緑のバーを選択すると、コミュニケーターはシステムメニューから、オンライン HART® メニューに移ります。

オンライン HART® メニュー - (SDC-625)

HART® 機器メニューは、HART® 通信可能な機器が接続され、HART® と通信できる時のみ、アクセス可能です。

機器情報
製造モデル:
タグ情報

オンライン
Hart® 機器
メニュー

HART®
メニューパスの
ナビゲーション
System

HART® メニューの画面例 (トップ、センター左、センター右、ボトムの 4 エリアから構成)

YTA: AREA 17

1 Tag

2 PV Unit&Damp

3 Range values

4 Snsr 1 config

5 Snsr1 snsrs/n

0

Basic setup

Online ▶ Device setup ▶ Basic setup

バッテリー残量/時刻

システムメニューに戻る

ショートカット作成

コンフィギュレーション

ホットキー

機器ステータス

変更の実行

ユーザ作成のショートカット

NOTICE ユーザ指定のフィールド(タグやロングタグといった HART パラメータ、ファイル名、ショートカットラベルなど)の部分は多言語対応による翻訳の対象外です。

NOTICE ホームメニュー(通常“Online”というラベル)をショートカットにすることはできません。メニューの 1 ページ目に続きがある(10 行目に 0-MORE-がある)場合、2 ページ目以降でショートカットを作成しても、1 ページ目がショートカットとなります。

その他メニューの詳細説明については、本体の取り扱い説明書をお読み下さい。

9R348-C
JP